

Sustainable Kyushu

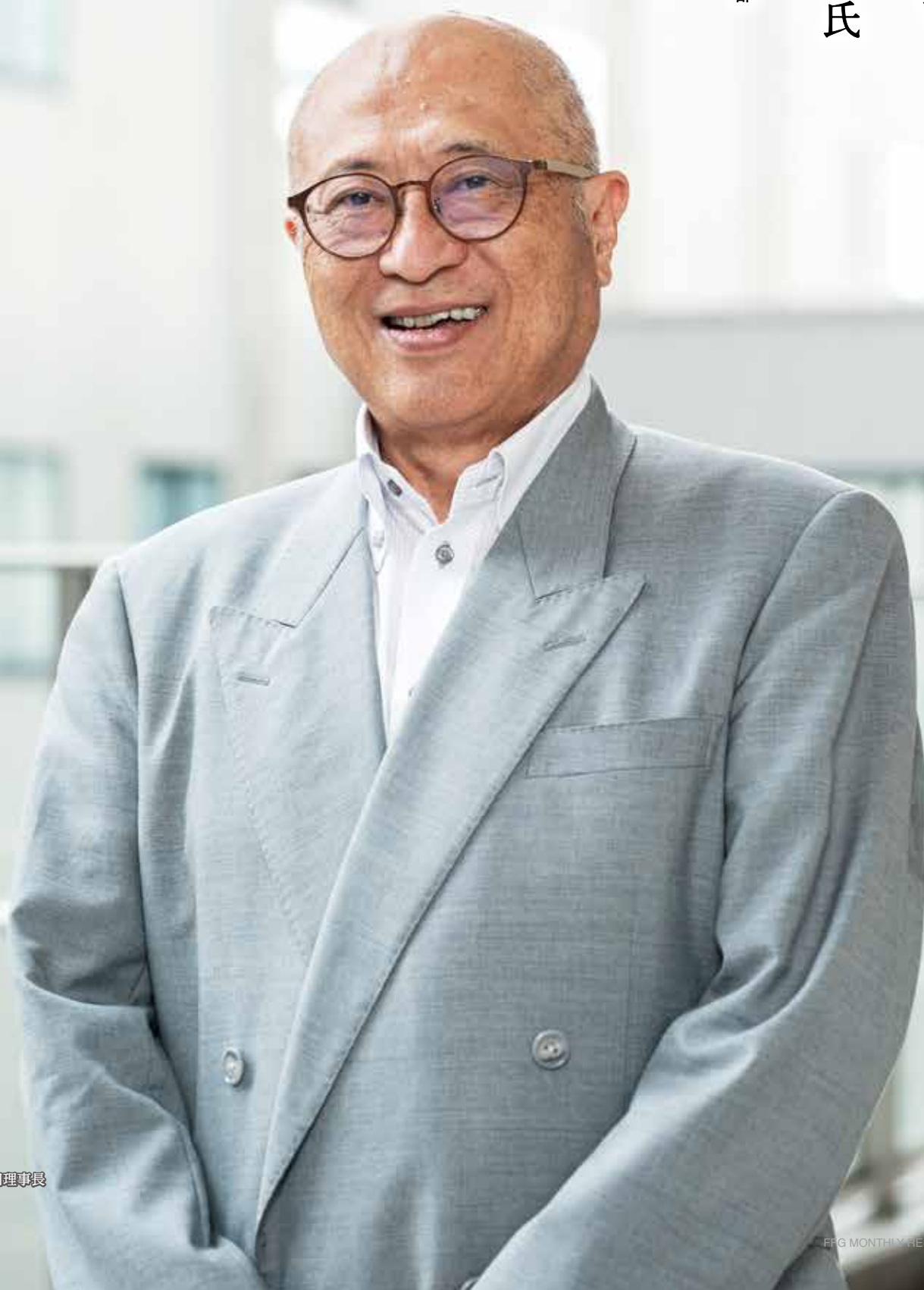
さすてなぶる九州

医療法人 玉昌会
理事長・総院長
ぎょくしょうかい

高田 昌実氏

Masachika Takata

取引店／福岡銀行 鹿児島営業部
熊本銀行 鹿児島支店



高田理事長

SDGsの取り組みを“見える化”する SSI Indexの結果を 健全かつ持続的な医療経営の指針に。

鹿児島で地域に密着した医療・介護・福祉サービスを展開する医療法人玉昌会は、SDGsの目標3に掲げられている「すべての人に健康と福祉を」を実現する最前線にある医療機関です。今回、業界全体として問題が浮き彫りとなっている人材確保や労働環境の整備、地域連携や環境への配慮などへの課題解決にもつながるSDGsの取り組みについて、医療法人玉昌会理事長・総院長を務める高田昌実氏にお話を伺いました。

国内初の意匠登録「ゼロ動線病棟」と 切れ目のない医療提供を実現

医療法人玉昌会は、鹿児島市、始良市（あいら）で病院や介護医療院、看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、有料老人ホームなどを展開しています。その中でも注目を受けているのが鹿児島市高麗町（こうらいちやう）に2021年2月に誕生した「キラメキテラスヘルスケアホスピタル」です。鹿児島市交通局跡地の再開発プロジェクトにより生まれた都市型複合施設「キラメキテラス」を構成する施設の一つで、ここには医療、商業・サービス・オフィス、ホテル、マンション、駐車場など複数の施設が集まっています。

当院は地域一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟の全198床を有し、急性期病院で治療を行ってきた患者や在宅から発熱などで体調を崩してしまった患者に対し、治療やリハビリなどを提供し生活の場へ帰っていただく役割を担っています。画期的なのは隣接の重症患者や緊急度の高い患者に対して24時間体制で医療を提供している急性期機能の「公益社団法人昭和会いまきいれ総合病院」と連携し、2階の「アトリウム」と呼ぶ通路でつながっています。異なる



キラメキテラスヘルスケアホスピタル外観

医療法人の病院が建築構造上つながっていることは全国的にも類がありません。「いまきいれ総合病院」は高度急性期・急性期病院として重症・高度な三次救急までを受け入れており、救急車の搬入台数は年間5,000台にもなります。しかし、急性期は入院日数が平均すると約10～14日程度で、その後は当院のような回復期病院に転院の必要があります。ベッドのまま転院できるこの通路があることは、患者さん、医療従事者双方の負担軽減につながっています。病院が「アトリウム」でつながることで、急性期機能から回復期機能・在宅サービスを含む慢性期機能を、切れ目なくワンストップで提供できる環境が実現しました。

病棟の特徴としては、日本で初めて特許庁から意匠登録認定された「ゼロ動線病棟」の未来型病棟を備えていることです。3階から6階の「ゼロ動線病棟」では、スタッフステーションと各病室の内側のドアを直結させ、医療従事者の看護動線を「ゼロ（最短）」にしました。病室の外側のドアを出ると「縁側廊下」と名付けた共有空間の廊下となっており、大きな窓に沿って設置された長い手すりは、歩行



1



3



2

1.共有空間となる広々とした縁側廊下／2.病室とスタッフステーションが直結するゼロ動線病棟／3.2階のアトリウムでいまきいれ総合病院とつながっている



インタビューに答える高田理事長

訓練などに利用できます。また各階には、広間（デイコーナー）、機能訓練室を設け、仕切りのない開放的な空間で過ごすことができます。

職員の提案から始まった

環境マネジメントへの取り組み

私が理事長となり20年が過ぎましたが、よく周囲の人から「玉昌会は新しいものにいち早く取り組んでいる」という声をいただきます。

私たちが担う医療・介護サービス事業は、社会保障制度に沿った国の管理体制の下にあり

ます。つまり経営者は社会的目線や患者さん目線に視点を置きつつも、国の方針に沿ったオーソドックスな経営スタイルを貫かなければなりません。

私が尊敬する松下幸之助氏は、何事に対しても「素直な心」が重要であるという言葉を残しています。この「素直な心」とは素直に物事を受け入れて、素直に行動することに通じています。その「素直な心」で実現したのがSDGsへの取り組みでした。

SDGsへの取り組みは、現場の職員からの「環境マネジメントに取り組みたい」という提案から始まったものです。私はその提案を素直に受け入れ、活動を見守りました。その結果、環境省が定めた環境経営システムに関する第三者認証・登録制度「エコアクション21」の認証を2013年に取得。ここから、私たちのグループ全体の体系的な環境経営の第一歩が始まりました。

さらにSDGsの17のゴールのうち目標3の「すべての人に健康と福祉を」に深く関連し、貢献する取り組みとして位置付けられている「健康経営」についても積極的に取り組んで

います。当法人は「いつまでも健やかに……私たちの願いです」を理念に掲げ、職員とその家族の健やかさを重要視してきました。その健康経営を「見える化」する「健康経営優良法人認定制度」が設けられており、その中で大規模法人部門において特に優れた取り組みを行う上位500の法人が認定される「ホワイ500」を、2019年度より7年連続で取得しています。

医療・介護サービスを通じて 多世代が住みよいまちづくりへ

さらに、鹿児島市の「SDGs」推進パートナーに登録し活動する中で、福岡銀行から企業のSDGsに対する取り組みを「見える化」できるSSIndexを紹介していただきました。私たちの取り組みがどのように評価されるのかを知りたいと、2022年度から参加しています。

現在、力を入れている項目の一つに「地域貢献」があります。その根底には、鹿児島市と始良市にある二つの病院ならびに二つの介護施設



5



6



4

4.「荒田校区コミュニティ協議会」×「ヒューマンライフライン協議会～ミライヲテラス～」包括連携協定締結式／5.キラメキ健幸ひろば／6.荒田校区健康教室



地域活動(神社清掃・水辺サポート)

(介護医療院)が、地域住民に対し、治し支える医療(サービス)を安定して提供できていることが挙げられます。しかし超高齢社会を迎え、これからは介護施設との連携を強化し、地域における医療・介護サポート活動のさらなる充実を図る必要があります。そのためにも多職種連携を行い、医療行為の提供にとどまらず、総合的な医療・介護サービスを統一的に提供し維持することをチームで考え、実行していくことが重要になると考えています。

具体的な取り組みでは、地域のまちづくりやさまざまな地域課題に取り組んでいる地元の

「荒田校区コミュニティ協議会」と公益社団法人昭和人昭和会、南国ホテルズ株式会社、医療法人玉昌会から成る「ヒューマンライフライン協議会」が、2024年7月に包括連携協定を締結しました。これは多様な連携を通じてお互いの資源や魅力を活かし、福祉・重層的課題・防災・文化をテーマに荒田校区における「合理的配慮の提供が行き届いた地域共生社会」・「多世代が住みよいまちづくり」の実現を目指すためのものです。

荒田校区は鹿児島市の中心部でありながらも高齢化率が年々上昇し、いざ有事の際には防災拠点としての機能も持たなければなりません。地域住民に対しては「キラメキ健幸ひろば」や「健康教室」を開催して健康増進を図ることはもちろん、災害への備えや防災意識の向上を図るための防災訓練も行っています。

**SDGsの取り組みへの評価を励みに
健全な医療経営の可能性を探る**

今回、SIndexで自社のSDGsの取り組みを把握できたことで、私自身が医療経営

に対して自信を持つことができました。今や医療・介護業界は崩壊寸前の危機にさらされています。長年の公定価格での安価な診療報酬、人手不足や物価高騰ならびに人件費の高騰、そこには金利上昇といった社会的背景もありますが、いかに業績を上げて経営に必要な利益を生み出すが存続の鍵となつています。そのような中で、職員全員が丸となり取り組んだ内容が、SDGsの取り組みに通じることを確認でき、私にも職員にとっても励みになりました。

2040年ごろには高齢化率がピークとなり、介護離職者などによる経済的損失は約9兆円とも言われています。社会の維持や未来をつくるために生産人口を生産の場にとどめるには、社会保障制度の下で、地域包括ケアシステムネットワークを活用した新たな地域医療構想と、新たな医療計画を基盤とした医療・

介護サービスで地域を守る必要があります。その時に、この「キラメキテラス」や玉昌会グループ全体で実現した「ヒューマンライフライン（共創プラットフォーム）」が大きな機能を発揮すると思っています。このプラットフォームは、いずれ国内の各地域はもちろん、高齢化に悩む世界の国々に対しても提供できる強力な輸出産業になるのではないかと考えています。



左から田島副院長、高田理事長

医療法人 玉昌会

■所在地：〈法人事務局 鹿児島本部〉

〒892-0822 鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル4階

■電話番号：099-226-8036

■事業内容：医療・介護・福祉サービス

■関連施設：キラメキテラスヘルスケアホスピタル、加治木温泉病院・加治木温泉病院介護医療院、JOYメディカルクリニック、介護医療院 おはな、トータルウェルネスセンター、キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗、居宅介護支援事業所 キラメキ、住宅型有料老人ホーム おはな別館、看護小規模多機能型居宅介護 お福、居宅介護支援事業所 ぬく杜

